

日本建設機械レンタル協会宮城支部

平成 29 年度 第 5 回理事会 議事録

日 時 : 平成 30 年 1 月 19 日 (金) 15:30~16:20
場 所 : 協会会議室
出席者 : 菅野支部長、山本、池田、東海林 (代理正木)、石井、蛭名各副支部長、
後藤、菅原、浦田、成澤(山内)、高橋 (一)、高橋 (光)、中野 (代理大塚)
各理事、宝池、小野各監事 計 15 名、欠席 2 名
事務局 小原

—配布資料—

1. H30 年新春懇話会・賀詞交歓会スケジュール
2. 会員・賛助会員参加者名簿
3. 収支報告書 (12/31 現在)
4. H・P アクセス集計表

山本専務理事が、開会にあたり上記出席者を確認し、理事会の成立を確認した。
又、議長は定款第 13 条第 4 項の規定により菅野支部長が任にあたることを報告した。

* これより、菅野支部長が議長を務めた。

* 菅野支部長挨拶(要旨)

・震災復興再生期も 3 月で終了し、4 月から発展期を迎えることになる。今後も会員一丸となって地域に貢献していきたい。そのような都市ですが、宮城支部は設立 45 年目になります。これまで協会を支えた歴代の会長や、会員・賛助会員の皆様に感謝する一方、「会員企業の活力向上」と「地域力向上」をめざし協会活動を進めてまいります。この後に「懇話会」「賀詞交歓会」と行事が続きますが宜しくお願いいたします。

以下省略

議事録署名人……北日本建機(株)後藤彰理事、小野リース(株)小野洋平理事の 2 名を指名した。

1. 本部理事会（1/17）の報告-----菅野支部長

- ・ 新年度よりレンタル業管理制度（登録制）について説明があった。知識として、広範囲に渡る。（安全、流通、整備等）来年度から資格者の育成を行うとの事。なお広域業者は各営業所毎に登録が必要になるとの事。
- ・ レンタル業者は全国に3千社程あるが、協会員（1千社）が対象で、他の会社との差別化を図ることが前提との事。
- ・ 技能士や可発の資格者の育成も合わせて推進していく。
- ・ アンケート結果が配布されているが、売上額が1兆円オーバーだが、前年に比較すると900億円ほど下落しているようだ。原因としては単価の下落が考えられると事。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

2. 新春懇話会・新年賀詞交歓会について-----小原事務局長
(別紙資料の通り)

- ・ 新春懇話会 16:30～「宮城野」にて開催となる。今回は、高橋理事に司会をお願いするが、8社がPRを希望している。
- ・ 新年賀詞交歓会は18:00～「クリスタル」にて開催参加者は200名を超える。
- ・ 役割分担に当たった理事の方々は宜しくお勤めをお願いする。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

3. その他

- ・ 先ほど三役会で検討したが、来年度の役員人事に関しては、石井新会長、山本専務理事の路線で進めていきたい。
- ・ 次回開催日は、平成30年3月12日（月）12:00～協会会議室
- ・ 協会収支については、特に支払を厳密に対応していく。収入に関しては賀詞交歓会参加費を例会費として計上、更に1月末で本部徴収分（725,000）の会費が入金となる予定。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

成 30 年 1 月 19 日

議事録署名人

理 事

北日本建機㈱

後藤 彰 

理 事

小野リース㈱

小野 洋平 